

## 心臓の解剖と Wet Lab から TEE へ ～成人心疾患編～

旭川医科大学麻酔・蘇生学講座 遠山裕樹

成人心臓手術において、経食道心エコー(TEE)は必須の診断機器であり、循環モニターから Decision Making まで、様々な用途に利用されています。2007年に米国麻酔科学会(ASA)は心臓麻酔科医に限らず、すべての麻酔科医に基礎的な TEE を習得する必要性を提唱したことにより、さらに必要なモニターとして重要度が増加し、TEE 普及への拍車がかかった状況となっています。現在、TEE の役割は、心臓手術のみならず、心疾患合併患者の非心臓手術や ICU など様々な状況で拡大していますので、我々麻酔科医が TEE の知識や技術を求められる機会が増加しています。そこで、TEE を効率的に理解し習得するために、我々は麻酔科医の視点から行う Wet Lab を開催してきました。

Wet Lab は実際に豚の心臓を解剖し、心臓の立体構造の理解を深めていき、麻酔科医の視点で TEE 画像と関連させながら解剖を進め、TEE の臨床能力向上を目的としたワークショップです。TEE の理解に必要な4つの弁の位置関係や構造、心房・心室の構造はもとより、教科書ではなかなか理解しにくい、三尖弁などの右心系構造や刺激伝導系の走行を理解する上で、特に有効なハンズオンだと考えます。

本講演では、実際の Wet Lab 画像と TEE 画像を組み合わせることで、より分かりやすく心臓の解剖と TEE について解説していく予定です。また、Wet Lab と関連させて虚血性心疾患や弁手術でのピットフォールなどについても解説していく予定です